

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜市立芥見東小学校		
実 施 期 間	平成26年11月15日(土)		
実 施 概 要	・児童会活動「なかよしフェスティバル」の開催 ・地域の住民「ふるさと先生」を招いての交流活動		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	271人	計 299 人
	地域関係者	28人	
実 施 状 況	・児童会行事「なかよしフェスティバル」を開催し、縦割り集団「なかよし班」と地域の指導者「ふるさと先生」(クラブ活動でも指導していただいている)とPTAが、遊びのコーナーを開設した。また、児童は交代で各コーナーを巡り、遊びを楽しんだ。 ・児童会のスローガン「おもいやり 心をつなげ ひがしっ子」の下に、なかよし班でアイデアを出し合って自分たちの遊びを考え、協力し合ってコーナーを運営した。 ・当日「ふるさと先生」は、紙飛行機、将棋、チェス、紙あそびの4店、またPTAは車いす体験のコーナーを準備した。児童が班ごとにコーナーを訪れ遊びやゲーム等を体験し、地域の方や保護者と交流した。 ・来校した保護者や地域の人々、また、児童の弟や妹など未就学の子どもたちも、各コーナーで体験や見学をした。		
成果及び課題	○今年で「なかよしフェスティバル」は8年目を迎え、児童もふるさと先生も企画、立案、運営がスムーズにできた。 ○1年生～6年生の縦割り班での活動では、発達段階に応じた役割分担ができ、一人一人が成就感を味わうことができた。 ○上級生は下級生への気遣い、下級生は上級生の姿から憧れを抱き、これからの学校生活の目標とすることができた。 ○PTAコーナーや「ふるさと先生」のコーナーでは、指導者の専門的スキルを活かすことができ、児童は豊かな体験ができた。 ●さらに地域の人材を活用することで、今後も体験的な活動を増やしていきたい。 <ふるさと先生の意見> ・単位時間(20分)が短くて十分に紹介できなかったが、どの子も積極的な態度で取り組めた。 ・高学年のリーダーが班をよくまとめており、時間通りに活動ができてよかった。		